

イサドラ・ダンカンの
夢を踊る

メアリー佐野 ソロダンス・シリーズ No.5 岐阜公演



DANCING DREAMING ISADORA

MARY SANO SOLO DANCE SERIES 5 IN GIFU

2015年12月25日(金)

7:00PM 開演 (6:30PM 開場)

岐阜市文化センター
小劇場

全自由席

一般:2,500円(当日3,000円)

学生:1,500円(当日同料金)
(18歳以下)

10月26日～発売

チケット取扱

岐阜市文化センター

岐阜市民会館

長良川国際会議場



チケット購入・お問い合わせ

木方今日子ダンスアート空間: 058-272-1088

メールでのご予約: info@duncandance.org

www.isadoraduncan.jp

主催:イサドラ ダンカン ヘリテッジ ソサエティ ジャパン

この事業は(一財)岐阜市公共ホール管理財団と岐阜市の支援事業です。

photo by Shigeo Seya

メアリー佐野

サンフランシスコ在住のダンカンダンサー。ミニヨン・ガーランドの愛弟子でありダンカン舞踊4代目継承者。1983年イサドラ・ダンカン・ヘリテッジ・ソサエティ・ジャパン創立。1990年、バルコ出版より「踊るヴィーナス-イサドラ・ダンカンの生涯」を出版。1991年米国ミルズ大学舞踊学部大学院修士課程修了。1993年メアリー佐野とダンカンダンス結成、1997年にはメアリー佐野スタジオ・オブ・ダンカン・ダンシングをサンフランシスコに設立(www.duncandance.org)。日米両国でダンカン舞踊を教授するかたわら、サンフランシスコ平和条約記念公演(アメリカ)、国際ダンカンフェスティバル(ハンガリー)、ユネスコ国際ダンス20周年記念公演(ギリシア)など数々の公演活動に従事。2010年には咸臨丸来航150周年をテーマにしたダンス劇「Ship of Dreams: 咸臨丸」を、サンフランシスコにて初演、総合芸術監督を務める。東京ではソロダンス・シリーズ「イサドラ・ダンカンの夢を踊る」を2003年より開始、又秋葉原RVLabでのサロン・コンサートを2006年より毎年開催している。サンフランシスコでは例年5月にイサドラ・ダンカン生誕祭(ディオニシアン・フェスティバル)を主催し、自身の公演・創作活動のみならず、ダンサーや音楽家などのパフォーミングアーティストの育成にも力を注いでいる。



戸梶 江吏子

玉川大学芸術学科音楽専攻ピアノ科卒業、同大学芸術専攻科修了。横浜国立大学大学院教育学研究科芸術系教育専攻修了。第3回フランス音楽コンクール入賞、第30回永ピアノオーディション合格、第6回長江杯国際音楽コンクール第2位。2005年アンサンブルMETピアノ演奏会を開催、2009年にはピアノリサイタル開催し、いずれも好評を得る。またダンカン舞踊継承者メアリー佐野との共演活動を長年に渡り続けており、昨年7月にはフランス、パリでの公演にも同行。今年3月のピアノリサイタルではメアリー佐野とのコラボ公演を行った。これまでに岸川基彦、森祥子、堀江真理子、ジャン・マリー・コテ、ジュディ・チンの各氏に師事。また2007年より毎年渡仏、研鑽を積んでいる。鶴川女子短期大学非常勤講師。



トニー チャップマン

サンフランシスコ・ベイエリア出身のソングライター。5歳からピアノを始め、15歳で作曲・作詞をはじめる。カリフォルニア州立大学サンタバーバラ校を2004年に卒業。大学時代2年間東京国際キリスト教大学に交換留学する。彼の音楽はポップ、ロック、ジャズ、ブルースの影響を受けており、親しみのあるイントロスペクティブな曲が特長である。2004年よりメアリー佐野との共同創作をはじめており、2010年にサンフランシスコで初演されたダンスシアター「Ship of Dreams: 咸臨丸」は、全曲彼のオリジナル曲で構成され、チェロと琴とのライブ演奏で聴衆を魅了した。2005年よりロサンゼルスに在住し、俳優としても活動している。



木方 今日子

日本のモダンダンスの父といわれる江口隆哉のもとで学び、1958年岐阜市に木方今日子舞踊研究所(のちの木方今日子ダンスアート空間)を設立。自由で斬新な視点と演出により数々の作品を手がけるほか、後進の育成にも尽力、ミュージカルの振付等活動は多岐にわたる。また、1982年「点の会」を結成。舞、音、光、墨のジャンルを超え、各分野の芸術を舞台の上で融合させる新しい総合舞台芸術の創作活動、また、自身の作品も精力的に発表している。2010年岐阜県芸術文化顕彰受賞。現在、岐阜県洋舞家協会会長。

その他の採択事業のご案内

【ホール系会場採択事業】

第18回市民プロデュース公演応援プロジェクト〈公募〉採択事業Vol.39

愛Wishプロジェクト LOVE&PEACE

主催:愛Wishプロジェクト 公演日:平成27年11月23日(月・祝) 会場:岐阜市文化センター 催し広場



ふるさとの岐阜を初めて離れたのは大学入学の時だった。女手一つで必死に私を守り、気丈でいつも前向きに私を育ててくれた母。子供の頃からそんな母の一心な愛をあびて育ったが、彼女は将来を見据えていたのか、18歳の私を気持ちよく手放してくれた。近年帰郷の回数を重ねるようになった。彼女は果敢にエイジングに立ち向かってきている。こんなあっぱれな母親を持って私はほんとうに幸せ者だ。

今の私にとって岐阜は「大切な母の住む町」であり、「懐かしく新しい町」である。この岐阜で15年ぶりにダンス公演を行うのは、とても感慨深く新たなスタート地点に立っているように感じる。

今回の岐阜公演は、イサドラから伝わった多くの作品の中から代表作であるショパンのワルツやマズルカ、スクリャービンのエチュード、シューベルトの「アヴェマリア」などを披露したい。ロサンゼルスから作曲家・ピアニストのトニーが来日し、私の振り付け作品も発表する。また同時に地元のみなさんと触れ合い、一般公募を通じて集まっていたいた色々なジャンルの表現者と一つの舞台作品を創造し、芸術としての舞踊の裾野と可能性を広げて行くことも目指している。岐阜で長年活躍している木方今日子さんの尊い協力を得て、そして岐阜市の支援の下でこの会が開けるのを心から感謝している。

2015年のクリスマスにダンカンダンスが岐阜の地に舞い降り、自然でスピリチュアルな旋風を巻き起こし、皆さんと一緒にピュアで美しく、力強い「生命の賛歌」を歌い上げることが今から心待ちにしている。

サンフランシスコ

2015年9月

メアリー佐野